

平成 31 年度 国際教育学科 一般推薦入学試験 講評

■ 設問 1

<出題意図>

設問 1 の題材は、気候変動と教育の関係について書かれた **Japan Times** のコラムである。筆者は、気候変動の課題に対して人々が行動を起こさない理由、およびそのような状況において教育に何ができるかを考えまとめている。

受験生には、教科書や問題集を学習するだけでなく、常に教室の外の社会問題や現代社会の抱える課題にも目を向け、様々な観点からよりよい社会の在り方について考察する態度や批判的思考力を身につけてほしいと願い、この文章を出題した。

<評価のポイント>

問 1

英語の長文を、内容を理解しながら最後まで読むことが出来ているかどうか確認する問題である。正解は、(d)。

ちなみに、(d)以外の選択肢については:

- (a) 正しくは、'not very concerned' である。また、全アメリカ人の 70%ではなく、政治的な無党派層の 70%。
- (b) 正しくは、Many people do not understand ~。
- (c) 'never miss out on opportunities'の部分が間違い。
- (d) 正解
- (e) 解決策は、技術拠点だけでなく、異なる視点をもった村や発展している都市、農家、工場などからももたらされる。
- (f) 本文では、「若い世代は、二酸化炭素排出量を減らそうとしている」と書かれている。

問 2

筆者の意図を正確に読み取ることができるかどうか、また文脈から適切な英語を推測できるかどうかを見た。

問 3

本文の内容を読み取り、日本語で誤字脱字なく、簡潔に筋道立ててまとめる力があるかどうかについてみた。

問 4

自分の考えを根拠を挙げながら、まとまりのある英文で適切に述べることができるかどうかをみた。また、合わせて、文法力、語彙力、スペリング、などの英語の知識についてもみた。

<採点講評>

問 1

段落ごとにきちんと内容を押さえながら最後まで読むことができれば解ける問題である。多くの受験生が正解を選ぶことができていた。

問 2

気候変動を「リスク」としてだけでなく「機会」としてとらえるべきであるという作者の主張を理解していれば解ける問題であると思われたが、正解率は低かった。括弧の前が「an」となっているので、単数形の言葉を入れるべきだが、複数形のまま言葉をいれているものもあった。

問 3

教育による気候変動への3つの取り組みのうち、知識を得ること、経済的な発展を作り出すことといった断片的な解答が多く、知識を得て何をするのか、教育によってどう経済的な発展につながるのか、といった部分がぬけている文章が多く見られた。もう1つの、革新的な技術を教育することで、より良い未来の建設に貢献できる、という部分は比較的良くできていた。質の高い教育を世界中で実現することで、若い世代の行動を変えることができるだろう、という文章全体の結論については、あまり良く書けていなかった。

問 4

自分の言葉で上手に論を展開している受験生がいる一方、文法や語彙の使い方に間違いが多く意味が通らない文章や、問題文の文章を切り貼りしただけの文章もみられた。受験生には、多くの長文を読み語彙力をつけると同時に、すでに知っている英単語を駆使して自分の意見を筋道を立てて述べる訓練をしてほしい。

■ 設問 2

<出題意図>

ある教室の場面を描いたノーマン・ロックウェルの作品を分析し、自分の言葉でそれを表

現することを課した。ある教室の様子を描いたこの作品において子どもたちは全員背中を向けているため、顔の表情を読み取ることができない。したがってこの作品を鑑賞するには、作品の細部を観察し、教室の様子から子どもたちの表情や感情などを想像する力を要する。この問題を通して、そうした受験生の「読解力」(教室の細部に目をやり、表情の見えない子どもたちの様子を読み取ることができるか)、およびそれを表現するための「英語力」(目に見えた風景を英語で表現できるか)をみた。

<評価のポイント>

問 1

教師の誕生日を子どもたちが祝っている場面であることが明確に記されているか。また教師と児童の関係についての解釈が明確に記されているかをみた。また、英語のスペルミスや文法上の誤りがないかをみた。

問 2

問 1 の解答として記された「解釈」に即した内容が、端的な英文で表現されているか、および、スペルミスや文法上の誤りがないかをみた。

<採点講評>

問 1

教師の後ろに板書された'Happy Birthday, Miss Jones'の文字や、教壇の上に置かれた素朴なプレゼントなどをもとに、子どもたちが教師の誕生日を祝っている絵であることを理解できている解答が多く見られた。一方で、板書内容に気づかず、散らかった教室で一方向的な授業を行っている場面である等の解釈を記したものも少なからずみられたことは、残念である。さらに、絵に描かれた事柄を正確な英文で表現する力にも、受験生によって大きな差がみられた。

問 2

全体として、問 1 で記した解釈に即したタイトルが記されていた。一方で、10 words 以内という極めて短い英作文問題であるにも関わらず、英文法上の誤りにより意味が読み取れず、点数のつけようのない解答も見られた。